

洪 恵子 先生

先生のプロフィール

【出身地】

東京都品川区

【専攻】

国際法（国際公法）

【近年(2~3年)の担当科目】

国際法総論 A, B、外書講読（英語）、International Law（国際科目）

【最近の趣味】

ピラティス



【Q1 先生の専門科目について教えてください。また、これまでの研究で苦労したことや印象に残っていることはありますか？】

私の専門分野は国際法です。上智大学の3年生のときに山本草二先生の「国際法」の講義を聞いて、この分野に魅せられました。ただ「国際法」の勉強が好きであっても、大学院に入ってからには苦労の連続でした。山本先生は非常に厳しい先生で、ダメだしされてばかりだったので、私が研究者になるなんて無理なんだとずっと思っていました。とはいえ、気づいたら30歳になっており、その時点でほかの道を目指すこともできず、とにかく頑張って勉強をつづけ、論文を書き、今も研究を続けています。本当に辛かったけれど、今は厳しく育てられて良かったと思います。

【Q2 国際法の中で、近年特に注目されている分野やトピックはありますか？】

私は国際法上の犯罪を研究対象としてきましたが、近年は戦争犯罪や国際人道法に多くの関心が高まっているように思います。残念ながら武力紛争が絶えない時代ですから。しかし、戦争犯罪は例えば難民と同様に、一般に使われる意味と国際法上の意味が若干異なります。戦争犯罪や国際人道法という言葉が独り歩きしていることを危惧しています。

【Q3 ゼミについてお伺いします。ゼミの雰囲気を一言で表すとどのような感じでしょうか？】

マイペース、でしょうか。

【Q4 ゼミでは、ゼミ生の発表だけでなく、合宿や模擬裁判、入管の見学など多様な活動が行われています。ゼミ生には、学問だけでなく、どのような姿勢やスキルを身につけて欲しいと考えていますか？】

ゼミ生には、自分の関心を出発点に、探求心を持って前向きに何事にも取り組んでほしいと思っています。

【Q5 南山大学に来て、一番印象に残っている出来事は何ですか？】

一番と順位をつけるのは難しいのですが、野外宗教劇を始めとするカトリックの大学らしさでしょうか。私自身、カトリックの信者なので、ほっとします。

【最後に、学生に向けて一言お願いします。】

受験を終えて大学に入学してからはもうほかの人と競争する必要はないので、人と比べるのではなくて、昨日や去年の自分との比較が大事かなと思います。つまり、自分自身の成長を自分で感じてほしいと思います。人として大きく成長できる大学生の4年間で大切に過ごしてください。

★ アドバンスト 洪 ゼミの実態！（2024年度ゼミ生 13名 3年6名、4年6名、留学生1名）

★ 洪 先生のトリセツ

国際法についてはもちろん、個人的な相談にも気さくに応じてくださいます。また、国連人種差別撤廃委員会の委員の経験もあり、難民審査の参与員もされているので、国際法や世界情勢について詳しく、学生からの質問に丁寧に答えてくださいます。学生の興味関心、問題意識を大切にしてくださる先生です。

日々や休暇中の課題

活動内容

【日々の準備、課題】

3年生：発表準備(テーマは自分で選択)

4年生：ゼミ論文の作成(テーマは自分で選択)

【長期休暇課題】

3年生：授業で自身が発表した国際法に関するテーマについてレポートを作成

4年生：ゼミ論文の作成(提出は1月末)

【ゼミのタイムスケジュール】

担当者の報告 20-30分、質疑・議論 40-50分

【年間スケジュール】※2024年度

Q1→3、4年生でペアになり発表

Q2→3年生：ゼミ合宿(模擬裁判)の準備

4年生：3年生のサポート、小論文の作成

Q3,Q4→3年生：個別発表

4年生：ゼミ論文の作成